

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 7 月 9 日 (2020.7.9)

【公開番号】特開 2019-27685 (P2019-27685A)

【公開日】平成 31 年 2 月 21 日 (2019.2.21)

【年通号数】公開・登録公報 2019-007

【出願番号】特願 2017-147797 (P2017-147797)

【国際特許分類】

F 2 5 B 41/00 (2006.01)

F 2 5 B 39/04 (2006.01)

F 2 8 D 1/053 (2006.01)

F 2 8 F 9/02 (2006.01)

F 2 8 F 1/02 (2006.01)

【F I】

F 2 5 B 41/00 C

F 2 5 B 39/04 C

F 2 5 B 39/04 S

F 2 8 D 1/053 A

F 2 8 F 9/02 3 0 1 E

F 2 8 F 1/02 B

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 26 日 (2020.5.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

この実施形態においては、凝縮部(2)および過冷却部(3)にそれぞれ 1 つの熱交換パスが設けられているが、熱交換パスの数はこれに限定されるものではなく、凝縮部(2)の冷媒流れ方向最下流側の熱交換パスの熱交換管(5)における冷媒流れ方向下流側端部と、過冷却部(3)の冷媒流れ方向最上流側の熱交換パスの熱交換管(5)における冷媒流れ方向上流側端部とが、左右いずれか同じ側に位置するのであれば、適宜変更可能である。ここでは、凝縮部(2)および過冷却部(3)にそれぞれ 1 つの熱交換パス(P1)(P2)が設けられているので、第 1 熱交換パス(P1)が、凝縮部(2)の冷媒流れ方向最上流側の熱交換パスであると同時に、冷媒流れ方向最下流側の熱交換パスとなり、第 2 熱交換パス(P2)が、過冷却部(3)の冷媒流れ方向最上流側の熱交換パスであると同時に、冷媒流れ方向最下流側の熱交換パスとなっている。